

第5学年1組 音楽科学習指導案

授業日 平成28年6月28日(火) 4校時
授業者 附属新潟小学校 教諭 佐藤 史人
会場 音楽室

1 題材名 「ホームページのBGMをつくろう ～和音の音で旋律づくり～」

2 本題材の価値

本題材は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容A表現(3)及び、内容の取り扱いと指導上の配慮事項の内容を受けて設定する。

第5学年及び第6学年の内容

A表現(3) 音楽づくり

イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。

〔共通事項〕ア(ア) リズム、旋律、和声の響き (イ) 反復

内容の取り扱いと指導上の配慮事項

(2) 和音及び和声の指導については、合唱や合奏の活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにすること。また、長調及び短調の楽曲においては、I、IV、V及びV₇などの和音を中心に指導すること。

本題材では、和声による旋律づくりを学習する。和声とは、西洋音楽の音楽理論の用語で、和音を連続したもの、またはハーモニーのことである。分かりやすく言い換えると、本題材では、連続した和音の音で旋律をつくる学習である。

本題材の価値は大きく三つある。

一つ目は、国語科の学習で育まれる資質・能力を発揮して、課題解決に迫ることができることである。具体的には、まず、子どもは思考ツール(イメージマップ)を用いて附属新潟小学校のイメージを広げ、視覚化する。このとき、言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力を発揮する。次に、イメージした言葉からリズムを考える。このとき、語感や言葉の使い方の感覚を想起してリズムを考えていく。そして、4つの言葉から生まれたリズムをつなげ、4小節のリズムをつくる。子どもは、リズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながら、BGMの旋律をつくるのである。

二つ目は、タブレット端末の音楽制作支援ツール(ipadのアプリGarageBand)を活用することである。このツールには、指で画面をタッチするだけで様々な和音を演奏することができる機能がある。この機能を使うことによって、I、IV、V、及びV₇の和音だけでなく他の和音も含めて、和音の連結による音楽の響きを感じ取り、感覚的にその変化のよさや美しさを味わうことができる。子どもは、自由に和音を選び、自分で和音進行を考えることができる。そして、考えた和音進行の響きや和音の構成音を手掛かりにして、BGMの旋律をつくるのである。本題材では、4人グループで相談しながら和音進行を考える(1グループだけ5人で考える)。グループで考えるよさは、友達と協力して和音を選べること、和音進行から感じた雰囲気や心地よさを共有できることなどである。

三つ目は、前時までの二つの題材で学習したことを生かして課題解決に迫ることができることである。具体的には、「夏と言えば、なあに？」(音楽)の題材で学習したリズムづくりと、「和音の美しさを味わおう」(音楽)の題材で学習した和音の響きや和音の移り変わり(和音進行)を関連付けて、自分の思いに合う旋律をつくる姿に迫ることができることである。意図的に二つの前題材を近づけておくことで、「リズムを考える→和音進行を考える→旋律を考える」という思考の流れが生まれることを想定し、本題材を設定した。

このように、音楽科を中心に、国語科の資質・能力やツール活用能力を発揮しながら、和声による旋律づくりを学習することができる題材である。

3 本題材で目指す姿

言葉のリズムと和音の響きを関連付けて、自分の思いに合う旋律をつくる子ども

具体的には、言葉からリズムを考え、音楽制作支援ツールを使ってグループで和音を選び、選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を考え、リズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながら、思いに合ったグループのBGMの旋律をつくる姿。

4 本題材で育む資質・能力

単元カード参照

5 指導計画 全3時間(100)

単元カード参照

6 指導の構想

子どもはこれまでに、「夏と言えば、なあに？」(音楽)の題材では、イメージマップを用いて夏のイメージを広げ、イメージした言葉を拍の流れの中に調子よく当てはめて、4つの言葉から生まれたリズムをつなげて4小節のリズムをつくる学習をしている。

「和音の美しさを味わおう」(音楽)の題材では、和音の響きの違いや和音の移り変わり(和音進行)を感じ取りながら、和声の響きの美しさを味わう学習をしている。また、「静かにねむれ」の楽譜から旋律は和音の構成音を多く使っていることに気付いたり、「優しい雰囲気だな」と感じたある和音進行(C-G-Am-E m-F-C-F-G)は、いろいろな曲(「Believe」や「にじいろ」など)に使われていることなどを学習したりしている。しかし、和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習はしていない。

「一つの言葉から」(国語)の単元では、語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持ちながら詩を学習している。語感や言葉の使い方の感覚に関する指導は、言葉のリズムをはじめ、語や語句の使い方、文や文章の表現の柔らかさ、美しさなどに対する感覚について、各学年を通じて指導が積み重ねられている(C0)。

このような子どもに、次のように働き掛ける。

働き掛け1

附属新潟小学校のホームページ(BGMあり)を提示し、感想を問う。

ホームページのBGMづくりに興味をもたせるための働き掛けである。

附属新潟小学校のホームページ(BGMあり)を提示する。子どもは、ホームページにBGMが流れていることに気づき、BGMに興味をもつ。感想を問う。そして、このBGMは、これまでの学習を生かして教師がつくった音楽であることを伝える。子どもは、「僕もBGMをつくってみたい」などと思う。これが問いをもった姿である。

働き掛け2

グループでBGMをつくることを提案し、「附属新潟小学校と言えば、なあに？」とイメージを問う。

思考ツール(イメージマップ)を使って附属新潟小学校のイメージを広げ、そこからBGMのリズムをつくらせるための働き掛けである。

BGMづくりに興味をもった子どもに、グループでBGMをつくることを提案する。そして、「附属新潟小学校と言えば、なあに？」と問う。子どもは、グループ学習に賛成する。そして、既習の「夏と言えば、なあに？」(音楽)の学習を想起し、イメージマップを使って附属新潟小学校のイメージを広げ、イメージした言葉からリズムをつくることができそうだと考える。グループに1枚イメージマップシートを配る。子どもは、**言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力を発揮し(資質・能力 国②③)**、附属新潟小学校のイメージを広げて、イメージマップを作成する。次に、イメージした言葉からリズムを考える。このとき、**語感や言葉の使い方の感覚を想起してリズムを考える(資質・能力 国①)**。そして、イメージした言葉の語感を生かした4小節のリズムをつくり(1人が1語で1小節分のリズムを考え、4人のリズムをつなげる)、**4小節のリズムを演奏する(資質・能力 音①)**。

働き掛け3

リズムの次に考えたいことと、そのために必要なことを問う。

音楽制作支援ツールを使って和音進行を考えるとBGMの旋律をつくれそうだという見通しをもたせるための働き掛けである。

附属新潟小学校をイメージした4小節のリズムをつくった子どもに、次に考えたいことは何かと問う。子どもは、和音進行を考えたいと答える。その理由を問う。子どもは、「和音の美しさを味わおう」(音楽)の学習を想起し、和音の響きが曲の雰囲気をつくること、「静かにねむれ」の旋律は和音の構成音を多く使っていたこと、和音の構成音で旋律がつくれそうなことなどを理由に挙げる。そこで、和音進行を考えるために必要なことを問う。子どもは、「和音の美しさを味わおう」(音楽)

の学習で経験した**タブレット端末の音楽制作支援ツールを使えば和音進行を考えられそうだ（資質・能力 音②）** と思い、音楽制作支援ツール（ipadのアプリGarageBand）を求める。これが、和音進行を考えるとBGMの旋律をつくれそうだという見通しをもった姿である。

働き掛け4-①

タブレット端末の音楽制作支援ツールとワークシートを提示する。

和音の響きを感じ取りながらグループの和音進行を決定させるための働き掛けである。

各グループにタブレット端末とワークシートを配る。和音の記述には音楽制作支援ツール（ipadのアプリGarageBand）内の表記と同じCやFなどのコードネーム（既習）を使うことを確認する。子どもは相談しながら、**音楽制作支援ツールを使って、□に入れる和音を自由に演奏し始める。「この和音がいいよね。そしてこっちの和音につながると楽しく盛り上がる感じになるね」などと、自分たちが選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を考え、決定する（資質・能力 音②③）**。そして、ワークシートに和音とその和音を選んだ理由を書いていく。

働き掛け4-②

旋律の仕上げ方を問う。

リズムと和音の響きを関連付けて、思いに合う旋律をつくるための働き掛けである。

和音進行を決定した子どもに、BGMの旋律の仕上げ方を問う。子どもは、鍵盤ハーモニカでリズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながら、BGMの旋律を仕上げると答え、実行する。そして、できた旋律をグループの友達と合わせ、4小節のグループのBGMを完成させる。できた旋律をワークシートに記入する。このように、**言葉のリズムと和音の響きを関連付けて、自分の思いに合う旋律をつくる子ども（C n）**になる。

7 本時の構想（本時 2/3時間 2～4Q）

(1) ねらい

音楽・国語の①知識や技能、②ツール活用能力、③見方や考え方を発揮して、言葉からリズムを考え、音楽制作支援ツールを使ってグループで和音を選び、選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を考え、リズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながら、思いに合ったグループのBGMの旋律をつくることができる。

(2) 主張（展開）3Q（45分）

このような子どもに（C0）

- 「夏と言えば、なあに？」（音楽）の題材で、イメージマップを用いて夏のイメージを広げ、イメージした言葉を拍の流れの中に調子よく当てはめて、4つの言葉から生まれたリズムをつなげて4小節のリズムをつくる学習をしている。
- 「和音の美しさを味わおう」（音楽）の題材で、和音の響きの違いや和音の移り変わり（和音進行）を感じ取りながら、和声の響きの美しさを味わう学習をしている。また、「静かにねむれ」の楽譜から旋律は和音の構成音を多く使っていることに気付いたり、「優しい雰囲気だな」と感じたある和音進行（C-G-Am-E m-F-C-F-G）は、いろいろな曲（「Believe」や「にじいろ」など）に使われていることなどを学習したりしている。
- 和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習はしていない。
- 「一つの言葉から」（国語）の単元で、語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもちながら詩を学習している。語感や言葉の使い方の感覚に関する指導は、言葉のリズムをはじめ、語や語句の使い方、文や文章の表現の柔らかさ、美しさなどに対する感覚について、各学年を通じて指導が積み重ねられている。

このように働き掛けると【働き掛け1】

- 附属新潟小学校のホームページ（BGMあり）を提示し、感想を問う。
 - ・説明「こちらの画面を見てください。これから附属新潟小学校のホームページを表示します。写真や文章の内容などは昨日までと同じですが、一つだけ昨日と違う点があります」
 - ※ ホームページ（BGMあり）を提示する。
 - ・発問「皆さん、何が違うか分かりましたか。感想を聴かせてください」
 - ※ 数人に発表させ、理由も問う。
 - ・説明「BGMがありましたね。実は、このホームページのBGMは、これまで皆さんが学習してきたことを生かして、先生がつくったBGMなんです」

- ※ 「BGMをつくってみたいな」という意見を取り上げ、同じ意見があるか挙手で確認する。
- ・指示「それでは、これから附属新潟小学校のホームページのBGMをつくみましょう」
- ※ 学習課題を板書する。

このようになり (G1)

- ホームページのBGMづくりに興味をもつ。
 - ・あ、BGMが聞こえるよ。
 - ・音楽が鳴っていていいなと思いました。
 - ・え、これまでの学習を生かしてしてくれるの。自分でもBGMをつくってみたいな。
- ◎附属新潟小学校のホームページのBGMをつくらう (学習課題)

~~~~~本時ここから~~~~~

### このように働き掛けると【働き掛け2】

- グループでBGMをつくることを提案し、「附属新潟小学校と言えば、なあに？」とイメージを問い、リズムづくりの手掛かりをつかませる。
  - ・説明「グループでBGMをつくみましょう」
  - ・発問「では、附属新潟小学校と言えば、なあに？」
    - ※ 数人に聞く。
  - ・指示「グループに1枚イメージマップを配ります。附属新潟小学校のイメージを広げてみてください」
  - ・指示「イメージが広がったら、その中の4つの言葉を手掛かりに、4小節のリズムをつくみましょう」
    - ※ 4小節のリズムをつくらせる（1人が1語で1小節分のリズムを考え、4人のリズムをつなげる）。
    - ※ 実際にたたいているリズムと記譜したリズムが合っていない場合は、実際にたたいたリズムを記譜できるように、書き方を助言する。
  - ・説明「グループごとに、4小節のBGMのリズムができましたね」
    - ※ 時間があれば、グループごとに4小節のリズムを発表させる。

### このようになり (G2)

- 思考ツール（イメージマップ）を使って附属新潟小学校のイメージを広げ、そこからBGMのリズムをつくる。
  - ・グループで相談しながらつくることができるぞ。どんなBGMにしようかな。
  - ・「楽しい学校」
  - ・「明日も来たくなる学校」
  - ・「友達に会える」
  - ・イメージマップを書いて、イメージを広げていこう。
  - ・附属新潟小学校-たのしい-ともだちにあえる-きょうりょくする-ぎょうじがもりあがる
  - ・附属新潟小学校-なかよし-なかよしはん-そうじ-おにぎりきゅうしょく-えがお (国語②③)
  - ・僕たちは、たのしい-ともだちにあえる-きょうりょくする-ぎょうじがもりあがる からリズムをつくらう。
  - ・♪♪♪♪ - ♪♪♪♪♪♪♪♪♪ - ♪♪♪♪♪ - ♪♪♪♪♪ (国語①・音楽①)  
 (たのしい) - (ともだちにあえる) - (きょうりょくする) - (ぎょうじがもりあがる)
  - ・4小節のBGMのリズムができたぞ。つなげて演奏（リズム打ち）してみよう。
- ※ ~~~~~のように、附属新潟小学校のイメージを広げて視覚化し、~~~~~のように、4つの言葉から生まれたリズムをつなげ、4小節のリズムをつくることができたなら、資質・能力 国①②③・音①を発揮したとみなす。

### このように働き掛けると【働き掛け3】

- リズムの次に考えたいことと、そのために必要なことを問う。
  - ・説明「ホームページのBGMをつくるために、4小節のBGMのリズムをつくりましたね」
  - ・発問「では、リズムの次に考えたいことは何ですか」「なぜそうしたいと考えたのですか」

- ※ さっきのBGMはこれまでの学習を生かしてつくられている点に触れ、前時を想起させる。前時を想起しやすいように既習事項を掲示しておく。
- ※ そう考えた理由を具体的に話させ、学習の進め方を板書する。
- ・ 発問「では、4小節の和音進行を考えるために必要なことはありますか」
- ※ 補助発問「なるほど。ipadで和音進行を考えたいのですね」
- ※ 同じようにipadを使いたいと考えているかどうか挙手で確認する。
- ※ 補助発問「ipadで和音進行を考えてから、どうするのですか」
- ※ 旋律づくりの見通しをもたせ、学習の進め方を板書する。

#### このようになり (03)

- 音楽制作支援ツールを使って和音進行を考えるとBGMの旋律をつくれそうだという見通しをもつ。

・  だったね。

(たのしい) - (ともだちにあえる) - (きょうりよくする) - (ごようじがもりあがる)

- ・ 音を考えたいです。
- ・ 和音進行を考えたいです。
- ・ 和音が曲の雰囲気をつくるからです。
- ・ 「静かにねむれ」のように、旋律は和音の音(構成音)を多く使っているから、先に和音進行を考えるとよいと思ったからです。
- ・ ipadを使って和音進行を考えたいです。GarageBandで和音を鳴らして和音進行を考えたいです。 (音楽②)
- ・ 和音の音(構成音)を使って旋律を考えます。

- ※ .....のように、ipadを使って和音進行を考えたいという発言、つぶやき、同意を示す挙手やうなずきが見られたら、資質・能力 音②を発揮したとみなす。

#### このように働き掛けると【働き掛け4-①】

- タブレット端末の音楽制作支援ツールとワークシートを提示する。
- ・ 説明「それでは、グループにipadとワークシートを配ります」
- ・ 指示「ワークシートを見てください。考えたBGMの4小節のリズムを書きます。和音進行を考えるときは、CやFなどのコードネームで考えます。ipadで4小節の和音進行を考えたら、にコードネームを書き、和音も書きましょう。なぜその和音進行にしたのか理由も書きましょう」
- ※ ワークシートを提示し、質問はないか確認する。
- ※ これまでの学習で触れていない和音(Am, Em, Bbなど)も使ってよいとする。
- ※ グループに音楽制作支援ツール、ワークシートを配付する。
- ※ 机間巡視をして、全員がGarageBandを起動して和音を演奏する操作ができているか確認する。必要に応じてGarageBandの操作やワークシートの記述の仕方を指示する。
- ※ 先に考えた4小節のリズムで和音を演奏しているなど、よい工夫が見られた場合は、その都度全体に紹介する。

#### このようになる (04-①)

- グループの和音進行を決定する。
- ・ 「静かにねむれ」の時のように、GarageBandを起動して指でタッチして和音を演奏してみよう。
- ・ この和音(Dm)がいいよね。リズムに合わせて和音を演奏してみよう。この和音(Dm)からこっちの和音(G)にいつて、最後にこの和音(C)につながると楽しく盛り上がる感じになるね。僕たちの和音進行は「C-Dm-G-C」に決まったね。 (音楽②③)
- ・ ワークシートに和音とその和音進行にした理由を書こう。
- ※ .....と.....のように、タブレット端末の音楽制作支援ツールを使って、先に考えた4小節のリズムに合わせて和音を演奏し、自分たちが選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を決定している姿が見られたら、資質・能力 音②③を発揮したとみなす。

~~~~~ 本時ここまで ~~~~~

このように働き掛けると【働き掛け4-②】

- 旋律の仕上げ方を問う。
- ・ 説明「どのグループも、ホームページのBGMをつくるために、4小節のリズムを考えて、

4小節の和音進行を考えましたね」

- ・発問「では、どうやってBGMの旋律を仕上げていきますか」
 - ※ 学習の進め方を具体的に話させ、ポイントを板書する。
 - ※ 「和音の構成音を使ってソー、ソー、ソー（低いソをただ連続で演奏）でもいいのかな」など、表したい感じと違う悪い例を提示し、自分の思いに合っているかどうかについて意識させる。
- ・指示「では、鍵盤ハーモニカで音を確認めながら、自分が担当する小節の旋律をつくりましょう」
- ・指示「旋律が出来上がったら、ワークシートに書きましょう」
 - ※ 楽譜を書くのが苦手な子どもは、階名（ドレミなどのカタカナ書き）でもよいとする。
- ・指示「グループの友達と旋律を合わせて、BGMを完成させましょう」
 - ※ 作品の出来具合と残り時間の様子を見て、いくつかのグループにアピールポイントと完成したBGMを発表させる。必要に応じて伴奏する。

このようになる (Cn)

- リズムと和音の響きを関連付けて、思いに合う旋律をつくる。
 - ・鍵盤ハーモニカでリズムに合わせて和音の音をいろいろ演奏しながら、旋律をつくりま
 - ・ちがう。同じ音ばかりや低すぎる音などはイメージと違うから、曲の感じを考えます。
 - ・ぼくは、 で和音はCでドミソだから、「ドミソソ」と音を上げていこうかな。
(たのしい) 楽しい感じになったぞ。
 - ・私は、 だ。Dmでレファラだね。「レレレファラララ」がいいかな。
(ともだちにあえる) 音を上げると楽しい感じがするな。
- ※ 同様に、グループのメンバー全員がそれぞれに旋律をつくる。
 - ・みんなで旋律を合わせてみようよ。
 - ・ (ド_低ミソソ) - (レレレファラララ) - (ソ ソ シ レ_高) - (ド_低 ミ ソソソ ド_高)
 - ・やった。できたね。私たちのBGMができたよ。楽しく盛り上がる感じだよ。
 - ・できたBGMの旋律をワークシートに書こう。
- ※ のように、鍵盤ハーモニカでリズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながらBGMの旋律を仕上げ、できた旋律をグループの友達と合わせて、4小節のBGMの旋律を完成させることができたなら、目指す姿になったと判断する。

8 検証

(1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより、想定したC nになったか。
- ② 構想した働き掛けにより、想定した資質・能力を発揮することができたか。
- ③ 子どもは発揮した資質・能力を自覚することができたか。

(2) 検証の方法

- ① 働き掛け4を受けて、 のように、自分たちが選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を決定し、 のように、言葉から考えたリズムに合わせて和音の構成音をいろいろと演奏しながら、思いに合ったグループのBGMの旋律をつくることができたかどうかを、ワークシートの楽譜や演奏の様子から判断する。
- ②-1 働き掛け2を受けて、 のように、言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力を発揮（資質・能力 国②③）したかどうか、 のように、語感や言葉の使い方の感覚を想起してリズムを考える（資質・能力 国①、音①）ことができたかを、発言やワークシートの記述から判断する。
- ②-2 働き掛け3・4-①を受けて、 と のように、タブレット端末の音楽制作支援ツールを使って自分たちが選んだ和音の響きを感じ取りながら和音進行を考え、決定できた（資質・能力 音②③）かどうかを、活動の様子、ワークシートの記述、演奏の様子から判断する。